

第3期江別市子ども・子育て支援事業計画 市民意見募集結果について

(市民意見募集期間:令和6年12月9日から令和7年1月9日まで)

令和7年2月

江別市 子ども家庭部 子育て支援課

市民意見募集の結果概要

■意見の募集結果

募 集 期 間	令和6年12月9日から令和7年1月9日まで
提 出 者 数	18 名
提 出 件 数	51 件

■意見の反映状況

内 容	件 数
1 意見を受けて案に反映したもの	2
2 案に意見の趣旨が既に盛り込まれているものと考えられるもの	6
3 案に反映していないが、今後の参考等とするもの	17
4 案に取り入れなかったもの	1
5 その他の意見	25
合 計	51

■いただいたご意見の内容等(提出いただきましたご意見は、できるかぎり原文のとおり掲載しております。)

1 意見を受けて案に反映したもの

No.	意見の内容	市の考え方
1	子どもアドボケイトの導入 今年度より、子どもの意見表明等支援事業が全国で実施されております。この事業は一時保護所や社会的養護で生活する児童を対象に実施するものになっておりますが本来であれば子ども全体の意見を吸い上げる取り組みが望ましいと思います。ですので、スクールソーシャルワーカーを利用する、もしくはアドボケイトを導入して子どもの意見を吸い上げ学校、もしくは市への取り組みに意見を伝えていけるようなシステムがあるとよいと思います。江別市内の子どもがいる教育機関、教育施設に訪問して子どもが思っていることを拾い上げる専門家がいると子どもが安心してのびのびと生活できる市になり、不登校などの子どもの生育に関する問題が減り、ゆくゆくは子育てしやすい街につながるのではないかと感じます。	子どもの意見を吸い上げ、まちづくりへ反映していく取り組みについては、本計画(案)の基本目標1、基本施策1－3子どもの権利の意識醸成の(2)子どもの意見が社会に反映される環境づくりの促進の中で検討していくこととしていますので、子どもの声を届ける支援や仕組み等についても、1－3(2)の項目に追記します。
2	「子ども」が直接行政に「〇〇をやってほしい。」、「〇〇をやめてほしい」などの声を届ける「目安箱」的な仕組みがあれば、政治参加意識が高まると思います。	

2 案に意見の趣旨が既に盛り込まれているものと考えられるもの

No.	意見の内容	市の考え方
3	<基本施策 1-3> 子どもの権利の意識醸成 市長就任の挨拶の中で子ども・子育て事業に対する熱意を感じた一人であり、11 月の「子どもが主役のまち宣言」を頼もしく思った。今年は子どもの権利条約ができて 30 年。今こそ江別市の「子どもの権利条例」制定に期待したい。	「子どもの権利条例」の制定につきましては、本計画(案)にも記載のとおり、子どもの権利を尊重したまちづくりを目指すため、今後、子どもの権利に関する条例の制定に向けた検討を進めます。
4	<基本施策 1-4> 健全な成長の支援 (2)放課後児童デイが増えて、保護者・本人の選択肢が広がったことは喜ばしい。18歳で学校を卒業した人が施設入所ではなく在宅生活を送るうえで利用できる場所はあるのだろうか？医療的ケアが必要な場合はどうなのか？切れ目のない支援、重層的な支援体制の構築を望む。	ライフステージに応じて切れ目のない支援を進めていくとした国のこども大綱の内容を踏まえ、本計画(案)においても、「乳幼児から一貫した切れ目のない支援を行う」こととしており、18歳に達した後についても住み慣れた地域での生活を継続することができるよう体制を整備します。
5	ネットでの発信に力を入れてほしいです。 子育てをしていると、紙媒体を見る時間よりネットを見ている時間の方が圧倒的に多いです。万が一のときに紙媒体が安心ということも大事なことだと思うので、バランスよく両立していただけると有難いです。	本計画(案)の基本目標3、基本施策 3-3 子育てに関する知識と情報の共有の(1)情報発信・共有・啓発に記載のとおり、子育て支援サイトとアプリ、SNS等を連携した多角的な情報発信に努めます。
6	子育てを地域で応援するまちづくりの施策の展開の中で「(2)子育てボランティアや関連団体の育成、支援」とありました。江別市の子育て支援拠点として8か所設置されているようですが、市内には市が目指すものと同じ想いで活動している団体もあり、子育てをより充実させていくには、施策の展開にもあるように、子育て支援関連団体を市で支援・補助した上で更なる充実を図り、子育てへの孤立・不安を少しでも減らし、子育てしやすい環境づくりを目指してほしいと思います。	ご意見のとおり、今後は本計画(案)の施策の展開に基づき、支援の充実に努めます。

7	キラキラさんと交流して思った事は、安全・安心・温かい雰囲気の中で、子育てが楽しい・充実した時間が過ごせる場所がある、という事です。このような場所が遠出をしなくても身近にあればと切に思います。江別市のキャッチフレーズに適した場所だと考えられます。	本計画(案)の基本目標2、基本施策 2-1 子育て支援の充実の(2)子育て支援サービスの充実に記載のとおり、地域の身近な場所で子育て家庭が気軽に集い、地域と家庭が一体となった子育て支援に努めます。
8	我が子は泉小学校に通っていますが、校区内に児童館がありません。低学年の頃は校区外の児童館に行くことができず、親に用事があると、お友達と室内で遊ぶことができません。 小学生、中学生が自由に出入りできる場所を校区内に設置していただけると、子供達が地域で心のよりどころを見つけ、学ぶことも増えると思います。 その場所が学校に行けない子供達の居場所になったり、塾に通えない子供達が勉強を教えてもらえる環境も整えば子供の将来が大きく変わると思います。	本計画(案)の基本目標1、基本施策 1-2 子どもの活動の機会や居場所づくりの(1)居場所づくりに記載のとおり、小学生以上の子どもの居場所づくりについては、児童センターだけでなく、地域の社会資源を効率的に活用して、多様な居場所づくりを進めます。

3 案に反映していないが、今後の参考等とするもの

No.	意見の内容	市の考え方
9	<基本施策 1-2> 子どもの活動の機会や居場所づくり 現在児童センター7館。児童数が比較的多い対小(604 人)、中央小(416 人)、いずみ野小(189 人)校区には設置されていない。各校区放課後児童クラブも低学年優先で、定員を満たしていると聞く。高学年が安心・安全に過ごせる児童センターの開設は急務と考えるが、いかがか？(施策 2-1(3)とも関連あり) また、児童センターができることで、中高生の居場所もできると考える。	保護者の就労にかかわらず、子どもが安全に安心して過ごせる多くの居場所を持つことができるよう、居場所づくりに取り組むことは重要です。 現時点では、新しい児童館・児童センターの計画はありませんが、既存施設や子ども食堂など地域の社会資源などの利活用も視野に入れながら、多様な居場所づくりを進めます。 また、中高生の居場所については、本計画(案)にも記載のとおり、今後、中高生の意見を聴きながら利用しやすい居場所づくりを目指します。
10	児童館、ミニ児童館の新設 大麻栄町地区は、ウィズランド大麻栄町、新町、北町と大きな宅地造成が行われ多くの子育て世帯が転入してくる地域となっていますが、圧倒的に子育て支援の受け皿が足りていません。多くのご家庭では共働きで入学後に児童クラブに申し込みますがすぐに満員になり足りていません。そして多くのご家庭がパートの働き方なので、短時間や長期休暇のみの利用希望です。又、3 年生以降になると学童は預けられなく家で留守番をさせる現状です。麻の実児童センターは低学年にしては校区外ですし、老朽化が進んでいます。市の運営するミニ児童館、児童センターがあると、気軽に利用できて良いです。	現時点では、新しい児童館・児童センターの計画はありませんが、既存施設の利活用も視野に入れながら、身近な地域における子どもの居場所づくりについて検討します。
11	自治会館のリニューアル 自治会館をリニューアルしてご年配の方々が孤立しないように、子供達も気軽に立ち寄れる場所として、一緒に集える場所が欲しい。図書館や学生が勉強できるスペースがあれば、子供達がゲームやネットではなく、活字と触れ合えたり、学びあい高めあう地域になると思います。	子どもの居場所づくりについては、本計画(案)の基本目標 1、基本施策 1-2 子どもの活動の機会や居場所づくりの(1)居場所づくりの中で検討していくこととしています。 いただいたご意見は、具体的な事業展開を検討する上で、参考とさせていただきます。

12	子ども達と高齢者がつどえる場所について予算を増やしてほしい。 小学生以上の子が居場所とできる場所をふやしてほしい。	本計画(案)の基本目標1、基本施策 1-2 子どもの活動の機会や居場所づくりの(1)居場所づくりに記載のとおり、小学生以上の子どもの居場所づくりについては、児童センターだけでなく、地域の社会資源を効率的に活用して、多様な居場所づくりを進めます。
13	P29、33<放課後(小・中・高生)の居場所について> 自治会館の活用 小・中・高生の企画運営による「つどいの場」を地域町内会と連携して行う。 例)学習室、読書室、遊び室など 子どもには、集団(5~10人)の中で、社会の中で調和して生きていく技(スキル)を身に付けてほしい	
14	学校におけるスポーツ少年団の存続、もしくはクラブ活動 先生方の働き方改革もありますが、地域のボランティアなどで放課後に子供達が体を動かす場や文化的に学べる場所があれば良い。例を挙げると栗沢小学校です。バレーボールや吹奏楽が全国でも活躍するレベルで盛んです。	第3期江別市学校教育基本計画では、子どもが地域と一体になってスポーツ・文化に親しむ環境を構築することを目指していくこととしています。 いただいたご意見は、具体的な事業展開を検討する上で、参考とさせていただきます。
15	P43 に関して 女性は出産後に社会復帰するタイミングが難しく、現状難しいです。資格や手に職のある人はいつでもやりたい事出来るかもしれませんが、全ての女性がそうではありません。特に一時的に子どもを預けて行うことは容易ではないので、その部分を応援する仕組みがあると良いのでは？と感じます。P52の部分にも関係があるかと感じますが、保育園・幼稚園だけにとどまらず、一般の一時預かりの利用をした際にも保育料の補助をするなど選択の幅も広げて頂けたらよいと感じます。	保育所等に在籍していない児童を、保育所等に一時的に預けられる制度として「一般型一時預かり」があります。 一般型一時預かりの利用形態のうち、「私的預かり」では、求職活動や育児疲れなどの理由でも利用可能となっています。(週 3 日間まで) いただいたご意見は、今度の子ども・子育て施策を検討するうえで参考とさせていただきます。

16	多様化する保育ニーズ P19 ライフスタイルの多様化により、土日祝に働くママ達もとても多い中、土日祝に預かる場所や保育士の人数確保の難しさからか、仕事なのに預けられず、やむなく仕事を休まなければならないという現状があります。しかも、急に「保育希望者が多い為預かれません」というケースもあり、その部分は早急に江別市で対応していく問題と感じます。	多様化する保育ニーズについては、本計画(案)の基本目標3、基本施策3-4 共働き・子育てへの支援の(2)働きたい女性への支援の中で検討していくこととしております。 いただいたご意見は、具体的な事業展開を検討する上で、参考とさせていただきます。
17	トワイライトステイの市内実施 ショートステイ実施箇所が2から4か所に増えておりますが、いずれも江別市内で行われておらず、実質使いづらい取り組みになってしまっているかと思えます。ショートステイを実施するには児童養護施設のような住環境が必要になるので江別市内に児童養護施設がない以上は難しいですが、トワイライトステイであれば宿泊を要するような形にはならないので取り入れやすいのではないかと思います。実際に、保育園や児童会館で取り組んでいる自治体もあると聞いております。	トワイライトステイにつきましては、基本施策2-1(2)にありますとおり、子育て家庭のニーズに対応する子育て支援事業の充実を図るため、先進的な取組を行っている市町村を参考にしながら検討します。
18	ホームスタート導入 ひとり親、貧困世帯の家庭支援ということで、市への相談を待つだけではなく、こちらから働きかけるような取り組みが必要かと思えます。ホームスタートは札幌市では手稲区でのみ実施されておりますが江別全域でこちらが利用できるようなになれば助かる母子家庭、貧困家庭などは多くいるかと思えます。	子育ての孤立防止については、本計画(案)の基本目標2、基本施策2-1子育て支援の充実の(2)子育て支援サービスの充実の中で検討していくこととしています。 いただいたご意見は、具体的な事業展開を検討する上で、参考とさせていただきます。
19	<基本施策2-1>子育て支援の充実 子育て中の親が孤立しないように支援サービスやひろば事業が活性化しており、情報もアプリで見られるようになり進化していると思う。 緊急サポート事業については、利用者の自己負担が大きいので、なんらかの補助があればさらに利用しやすいと思う。	緊急サポートネットワーク事業への助成については、令和4年度から、ひとり親世帯を対象に利用料の減免を始めたところです。 今後も利用者の声などを集約しながら、利用しやすい仕組みづくりを検討します。

20	共働き家庭が多くなっている中、緊急サポートの助成があると思います。子どもだけでなく、ママが体調不良で困ったお話が聞こえてきます。 小学生の一時預かりが欲しい声も聞こえています。	
21	現在二児の母ですが、本当はまだ子供を産みたいけれど、経済的な理由と年齢的なもので諦めています。でも一番の理由は、新生児を育てながら、上の子のお世話ができる自信がないからです。双方の親は遠方住みかつ高齢で、長期間子供のお世話をお願いするには難しく、夫の育休も「まだ自分の会社では前例がないから」と望めません。夫に育休を取ってもらうのが一番望ましいとは思いますが、2人産んで思うことは、新生児のお世話をしながらまだ産後ボロボロの心身で夫にそれを指示する余裕はなかったからです。妊娠出産の痛みも辛さもわかって欲しくても夫に想像し難いのは仕方ないですが、私は産後、その大変さを経験先輩ママ方に側にいて欲しかったです。毎週会って子供達も慣れ親しんでいたきらきらさんのスタッフさんたちに側にいて欲しかったです。そういった産後ケアしてくださるハグネットさんは予約でパンパン！それでも1泊だけでもかなり助けられました。きらきらさんでも訪問保育をされてるので、産後、何度もこれを利用しようと思いましたが、いかんせん料金が高くて手が出ません。せめて産後一週間でもその料金の助成があれば、上の子のお世話をお願いしてママは新生児のお世話と自身の身体を休めることに専念できるのになあと思いました。どうか身内のサポートを受けるのが難しい人にも2人目、3人目を産める希望となる支援が欲しいです。	妊娠期及び出産後の子育て支援については、本計画(案)の基本目標2、基本施策2-2 親子の保健の確保の(1)相談体制の充実・確保、及び(2)母子保健の充実の中で検討していくこととしています。また、子育てに係る経済的負担の軽減については、同じく基本施策2-4 子どもの貧困対策の推進(3)経済的支援の充実の中で検討していくこととしています。 いただいたご意見は、具体的な事業展開を検討する上で、参考とさせていただきます。

22	＜基本施策 1-1＞子どもの教育・保育の充実 アンケート実施結果からも、保育園・幼稚園等集団の中で過ごす子が多い。その中には障がいを持つ子や他国籍の子もいると思うが、早くから身近に接することでお互いの理解が生まれる。その素地の上で学童期以降、インクルーシブ教育を推進し、多様な在り方を認め合える共生社会の実現を願う。	保育園・幼稚園等に在籍する障がいを持つ子どもや外国籍の子どもは、近年、増加傾向にあります。 学童期以降においても特別な支援や配慮が必要な児童・生徒は増加傾向にあることから、「第3期江別市学校教育基本計画」の基本的な考えの中では、障がいや困難を抱える子どもを含むすべての子どもたちが、可能な限り共に教育を受けることができる体制を整え、教育活動を進めていく必要があるものとしています。 本計画(案)においても、関連する計画と整合・連携を図ることとしており、いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
23	昨年の11月末に発表された江別市「子どもが主役のまち宣言」の表明を見ましてこちらを書こうと思いました。まだ子供は小学生ですが、週に数回市内の子育て団体で仕事をしています。その子育てひろばには毎週月曜にたくさんのお母さんお子さんが利用しに来ます。このひろばの雰囲気が好きと言われ10台ある駐車場もいっぱいになり、オープン前から待っている親子さんもいます。ひろば以外にも多世代交流サロン、食育として食の大切さを来て頂いた年配の方や親子さんにもお伝えする活動も毎回20人前後の方に喜ばれ足を運んで頂いてます。市民の方に喜ばれ、感謝をもらっていますが、予算が無く、利用者さんの希望にお答えできないのが現実です。年配の方、お母さん、お父さん、小さなお子さん、小学生のお兄ちゃんお姉ちゃん、初めて来館された方も「また来るね！楽しかった」と元気になってまた姿を見せてくれます。「子育て孤独に悩んで息が詰まって人と話がしたくて勇気を出して来てみました」という方がたくさんいます。なので、市と民間の団体が一緒に子ども、お父さん、お母さん、年配の方にもっと寄り添って頂けるよう資金面でご協力いただければと思います。	民間で実施している遊びの広場等に対する支援の必要性については、本計画(案)の基本目標2、基本施策2-1子育て支援の充実の(2)子育て支援サービスの充実の中で検討していくこととしています。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

24	スマートフォンなどの利用、活用について「子ども」自身が考え、発信する取組がほしい。	情報モラル教育については、本計画(案)の基本目標3、基本施策3－2子育てしやすく安全な環境の整備の(3)犯罪被害の防止・有害環境対策の中で教育の充実に努めていくこととしています。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
25	保育園の給食について 毎月、保育園から給食だよりを配布され献立を見ますが、りんごとだんごが定期的に献立に入っていることが残念です。給食の見本を見たことがないので、意見するのは立場違いかもしれませんが...江別市は、食に対する危機管理が足りないのではないのでしょうか。日々、人手不足のなか保育している保育士に、わざわざ集団で危険な食べ物を提供させる必要性は私は無いと思っています。	保育園の給食は、栄養バランスのとれたおいしい献立を基本に、季節の食材や伝統行事を取り入れたものを作成しています。 給食の提供にあたっては、こどもの発達状況に応じて食材の量や大きさ、固さなどに十分注意して調理をしており、りんごやだんごなどの提供に際しても、同様に配慮しているところです。 いただいたご意見は、今後の献立を検討するうえで、参考とさせていただきます。

4 案に取り入れなかったもの

No.	意見の内容	市の考え方
26	もっと具体的な計画案があると思ったので全体的に薄いなと思いました。長い文章と硬い用語ばかりで、なおかつありきたりな内容しかなく、一保護者として「江別市は、本当に子育ての街とうたって成長していく気があるのかな？」と不安に思いました。役所なので仕方ないと思いますが... 辛辣ですみません。子育て支援の軸となる役所が、もっと行動的に攻めないと江別市はこのまま変わらないと思います。 私が事業計画対してどんなことを望んでいたかといえば、「いじめをなくします！（なくす、というより最悪の事態を招かないようにしっかりといじめ解決に向けて行動できるよう教職員の負担を減らします！そのためにはこんな負担を減らせるよう、こういう人員を配置します！だと思いますが）」「保育士や教員に〇〇万円の給与を支払えるようにします！」「〇〇年までに小児医療体制をこうします！」という計画でした。	本計画(案)では、基本理念である「子どもが主役、子どもしあわせのまち・えべつ」を実現するため、総合的な施策展開を目指すこととしています。 目標の達成に向けた個別具体的な事業展開については、計画期間内における社会情勢(法改正など)や市の財政状況等を踏まえながら、毎年の予算編成等において検討します。

5 その他の意見

No.	意見の内容	市の考え方
27	ヤングケアラーといえる子どもがいる中で「子ども自身が気づく機会の確保」とは具体的にどんなことか？	市内小中学校において、北海道による全児童へのヤングケアラー相談先カードの配布やポスター配布、市内公共施設・店舗等へのポスター掲示やチラシ配架を行い、当事者である子ども自身が周囲の大人にSOSを発信できるよう取り組みます。また、市民への啓発などに取り組みます。
28	地域子育て支援拠点事業 P16 「地域子育て支援拠点」といわれる所は市内 8 か所となっており、ほかにも市からの助成はないが、ほぼ似たようなことをしている所が 5 か所程ありますが、そこについての記載が全くないのが気になります。また、いつの間にか「地域子育て支援拠点」と呼ばれる場所が増えていて、既存のところへ、打診もなく新たに開設されたところがそのように呼ばれているのか疑問です。市が運営に関わっていないと「地域子育て支援拠点」というとらえにはならないのでしょうか？もし条件があるのであれば、知りたいです。	地域子育て支援拠点事業の実施主体は市であり、現在は委託を含めた常設の子育て支援センター8 か所で実施しています。 「地域子育て支援拠点事業」は子育てに関する相談や情報・親子の交流の場の提供、講習会を開催することが国で位置付けられ、実施内容や方法、場所等については国の基準を満たしたものになっています。 ご意見をいただいた子育て支援団体等が地域で開設している「親子であそべるひろば」はこの条件にあてはまりません。
29	すべての子ども・若者が心身的・精神的・社会的に幸せな状態で生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現を目指していくことは素晴らしいと考えます。	本計画(案)は、国が目指す「こどもまんなか社会」の実現などの背景も踏まえて策定するものであり、今後も計画に基づく施策の充実に努めます。
30	私が住む町内は、高齢者が多く住む地域であり、敬老といった考え方は、浸透しているように感じますが、逆に子どもが少ない地域でもあり、子育てに対する考え方や対策が手薄になっているように感じます。そうした子どもたちが将来的にこの自治体に住みたいと思ってもらえるような江別市であってほしいです。	本計画(案)は、子どもたちが安心して成長し、将来的に江別市に住み続けたいと思ってもらえるような魅力的なまちづくりを目指し策定するものです。 今後も市民の皆様からのご意見を参考にしながら、計画に基づく施策を進めます。

31	基本理念 子どもの笑顔があふれるまち 基本目標 子ども達が元気に育ち、笑顔で学ぶ未来あるまち となっていますが、最近では体に良くないといわれるフッ化洗口が始まり、給食も給食センターでの手作りではなく、コープさっぽろによるお弁当になるかもと聞いてます。 農薬、添加物食品で溢れるこの時代に、子供が元気に育つよう食生活を気をつけてます。どうして住民の意見を聴かずに子供にとって良くない事が、どんどん決まってしまうのでしょうか…。給食は口にする機会がとても多いです。民間による給食にするなら、無農薬、手作りをしてくれる民間に委託して欲しいです。添加物を多く含まれる給食になってしまえば、子供は元気に育ちませんので是非ご検討のほどよろしくお願いします。	今回のパブリックコメントは、計画(案)に対するご意見を募集するものですので、個別の要望等につきましては、今後の参考にさせていただきます。
32	食は健康の基礎であり…P35 正にそう思うところですが、学校給食はとても重要な役割を担っていると思いますが、給食センターの老朽化に伴い、民間企業に教育の一環でもある「給食」を担おうとしている動きはとても気になります。子ども第一の「給食」となるのでしょうか？コスト優先になり、質の悪い企業宣伝になるものになるのではないかと心配です。安心・安全なものが持続的に提供されていくことを願います。	
33	江別のおいしく安心安全な給食がずっと続く事をお願いします。薬品処理されたカット野菜、不安な添加物など使わない心のこもった給食で子ども達の健全な成長につながるように。	
34	学校給食の食材や調味料などに不安があるので、無農薬、オーガニックで徹底して欲しい。	

35	食の件ですが、食は健康の基礎・・・とありますが、オーガニックとは言いませんが、添加物の使われていない、保存料の入っていない自然な食材を手作りしてほしいです。	今回のパブリックコメントは、計画(案)に対するご意見を募集するものですので、個別の要望等につきましては、今後の参考にさせていただきます。
36	最近学校給食の質が下がっていると聞きます。江別市で育った子供達が将来、子供を育てるなら江別がいいと思ってくれるように、地元野菜を使った質の良い給食を食べてもらいたいと思います。	
37	学校給食は市で直接運営していただきたいです。 できるだけ地元の野菜(できればオーガニックを応援してほしい！)を使っいただきたい。	
38	野幌中学校の場所が通学生の居宅密集地に対して通いにくい位置にあったり、暗い・人气が少ない・熊の出没リスクなど安全面に心配がある。	
39	小学校6年間、毎回スキーを揃えるのがものすごく大変なので、どうにかしてほしいです。3回しかやらないなら、なしでもいい。	
40	先生の負担が大きいので、2年後には中学校の部活の先生が外部講師になると聞きました。子供は部活動にて学んだ事が、心身共に将来に大きな影響を与えていると思います。部活の種類を減らさず、部活費負担も大きくならないようにしていただきたいです。 部活に入れずフラフラする子供が増えると、子供の笑顔が減り治安が悪くなる事も考えられると思います。 江別市の経済も大変かもしれませんが、将来の子供たちの為に支援を注いでいただきたいです。	

41	オムツのゴミ代の無料化は大変助かっています。ありがとうございます。わがままかもしれませんが、オムツ代がかさみ高騰もしているため辛いです。トイレに行けるようになる3歳まではオムツ代の補助があると助かります。(無制限は無駄遣いになるので年間24袋まで交換可能な券の配布など)。	今回のパブリックコメントは、計画(案)に対するご意見を募集するものですので、個別の要望等につきましては、今後の参考にさせていただきます。
42	子供が生まれると大体の方は住宅の購入を検討すると思います。札幌市近郊で住宅を購入することを検討される方は多く、注目するのはやはり助成金制度！江別と南幌で迷って、助成金の有無で南幌にした、という方の話を聞きます。子育て世代の住みよい街づくりの仕組みを再度検討していただきたいです。	
43	やむを得ず専業主婦をしている人もいて、能力もあり、地域に貢献したいと感じている人も多いと感じ、もったいない人材はたくさんあります。そのような方を色々なところでまずはボランティア活動から取り入れ、(有償)徐々に就業していく形に市としてバックアップしてもらえたら…と感じます。	
44	交通安全について 私は普段、子どもを保育園に預けて就労しています。そのため、保育園への送迎をするのに車の運転をしています。スマホを見ながら運転する方がとっても多いです！！！！普通車トラック問わず、2～3日に1回は必ず目撃します。本当に腹が立ちます。摘発してほしいと願っています。	
45	お出かけに関してですが、江別市では小さな子を連れて行けるようなフードコートが存在していないのが不便だと感じています(江別市に引っ越してくる前から遊びに行くにも食べさせるのに困るなと思っていました。	

46	江別市内には気軽に行けるフードコートがありません(蔦屋書店は静かで落ち着いていて席も少なく、子育て世帯が使えるフードコートとは思っていないです)。 子育て世帯が、安心して外食できる飲食店の発信をしていたら嬉しいです。	今回のパブリックコメントは、計画(案)に対するご意見を募集するものですので、個別の要望等につきましては、今後の参考にさせていただきます。
47	・市民協働のまちづくりを目指すためには単年度の助成ではなかなか継続は難しい。市民団体の子育て支援活動、ママの様子、市の方見て欲しい。人件費の補助ももっとあるともっと活動が広がると感じています。	
48	いつもきらきら広場を利用させていただいております。こちらでは、ほかのお母さんと交流ができたり、スタッフの方に子育ての話を聞いていただいたりなど、子供を遊ばせる以外にもたくさんの付加価値があり、とても助かっています。特に子育てを経験してきて、たくさんの子供達をみてきたスタッフさんからかけていただく言葉はとても参考になり、気持ちが楽になります。週に一度しか開放していないのが、とても残念で、もっと遊びに行けたらなとも思っています。きらきら広場の開放をもっと多くしていただけるよう希望します。	
49	子育てワーカーズきらきらさん主催の、毎月1回ずつあるコルクえべつでの「ココカフェ」と新栄団地での「きらきらタイム」では、子連れでもコーヒーやおかしをごちそうになりながら、スタッフさんや他のママ達と交流が出来るので、子育ての息抜き場としてももちろん、江別に移住してきたばかりの私にとっては、幼稚園のことをはじめ子育てにおける江別市内の様々な情報源となり、本当に重宝させて頂いています。今のところ月2回なのでこのような機会がもっと増えることを望みます。	

50	市内の支援センターも利用させてもらっていますが、お昼時間も開いている所は少なく、ご飯も食べられるのでとても助かっています。子どももそれを楽しみにしていますし、私としてももっと回数多く開いてくれたらいいな～と思っています。冬場は特に小さい子どもを遊ばせるには、昼も開いている室内の遊び場がとても助かります。eたいむでは、手作りのおやつも食べられ、コーヒーや紅茶も飲めて、お母さん同士のリラックス&おしゃべりタイムが出来て、とてもリフレッシュできます。月一回なのが週一回にでもなったらな～といつも思います。日々の子育て、なかなか落ち着いてゆっくりコーヒーを飲むってことは、日常ではなかなか難しい毎日です。子どもも遊べてお母さんたちもリフレッシュ&リラックスできるeたいむ、ぜひ多く開いてくれることを願っています。あと、広場、冬場は寒いので、暖かければ尚言うことなしです！床が冷たい。	今回のパブリックコメントは、計画(案)に対するご意見を募集するものですので、個別の要望等につきましては、今後の参考にさせていただきます。
51	きらきさんのひろばやeたいむの回数を増やして欲しいです。託児ルームの時間もあと少し長くなったら嬉しいです。	